

参 考 手 本

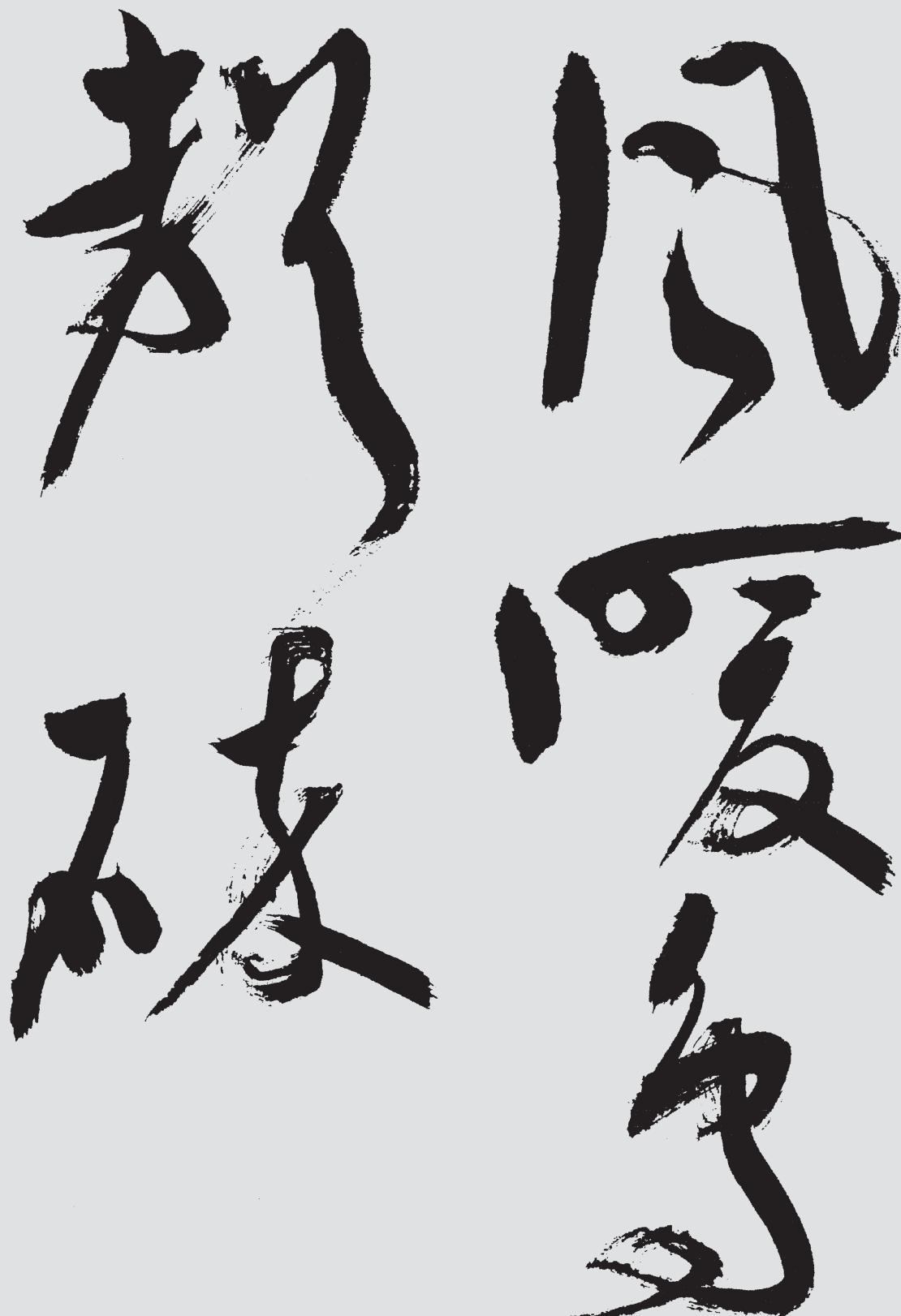
※これは規定課題ではありません。



高木聖雨先生

# 参考手本

※これは規定課題ではありません。



高木聖雨先生

# 条幅かな

# 条幅規定

C部（二段以下）

A部（準五段以上）  
B部（四段～準三段）

奇仰異承至言於先聖受真教於上賢探蹟  
真教於上賢探蹟

宿植勝因恬榮穢欲善來佛子落采菴園開意  
佛子落采菴園開意

集字聖教序（東晉・王羲之）

奇仰異承至言於先聖受真教於上賢探蹟

浮 乘 清 鄉 先 生

大江山可多婦具可造斜農耳可利年  
おおえやまかたぶく月の影さて鳥羽田の面に落つる雁  
おおえやまかたぶくつきのひかねとばたおもおかりがね  
（慈円）

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左側下部に添え書きして下さい。



条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

（9月10日締切）

# 半紙規定(一)

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

曹全碑(漢・作者不詳)



疎勒國王和徳

勒国王和徳

[この課題を同月の半紙随意には出品出来ません]

(9月10日締切)

## 半紙規定(二)

清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書 〔一級以下〕楷書

九成宮醴泉銘（唐・歐陽詢）

照灼雲霞蔽



雲霞を照灼し、日月を蔽虧す。

[この課題を同月の半紙随意には出品出来ません]

(9月10日締切)

条幅参考手本

不知是曉光抑是殘夜色但

覺一片清新涼徹肌骨

不知是曉光 抑是殘夜色 但覺一片清 新涼徹肌骨  
是曉光を知らず 是残夜の色を抑む 但覚ゆ一片の清 新涼肌骨に徹す

高橋秀翠先生



楚水日夜綠 傍江春草深 青青遙滿目 萬里傷歸心

楚水日夜綠に、江に傍うて春草深し。青々として遙かに目に満ち、万里帰心を傷ましむ。

大越三宗先生

# 条幅参考本

形見とて何が残さん夜は花に夏  
ほとゝぎす秋はもみぢ葉

良寛  
春のうつた  
春堂かくじ

田中奎堂先生

猿声到枕上 愁夢紛難理 寂寂深夜寒 清霜落秋水

猿声枕上に到り、愁夢紛として理め難し。寂寂として深夜寒く、清霜秋水に落つ。

猿聲到枕上 愁夢紛難理 寂寂深夜寒 清霜落秋水

猿声主

小柳琅泉先生

形見とて何か残さん春は花夏ほときす秋はもみぢ葉 (良寛)

# 半紙かな(初段以上)

風 そ よぐ 入 江 の 蘆 の ほ の ぼ の と 月 に な り ゆ く う す 霧 の 空  
所 いりえ 能寶 あしのべ 月 つき 月 つき  
農 あし能寶 あしのべ 月 つき 月 つき  
利遊具 きりゆうぐ 月 つき 月 つき  
支利霧 さりぎりの 月 つき 月 つき  
所 いりえ 能寶 あしのべ 月 つき 月 つき  
（細川幽斎）

支部名 段 姓 号 (鉛筆可)

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。  
※ちらし文字変換は自由。

浮 乘 清 郷 先 生

(9月10日締切)

# 半紙かな（1級～8級）

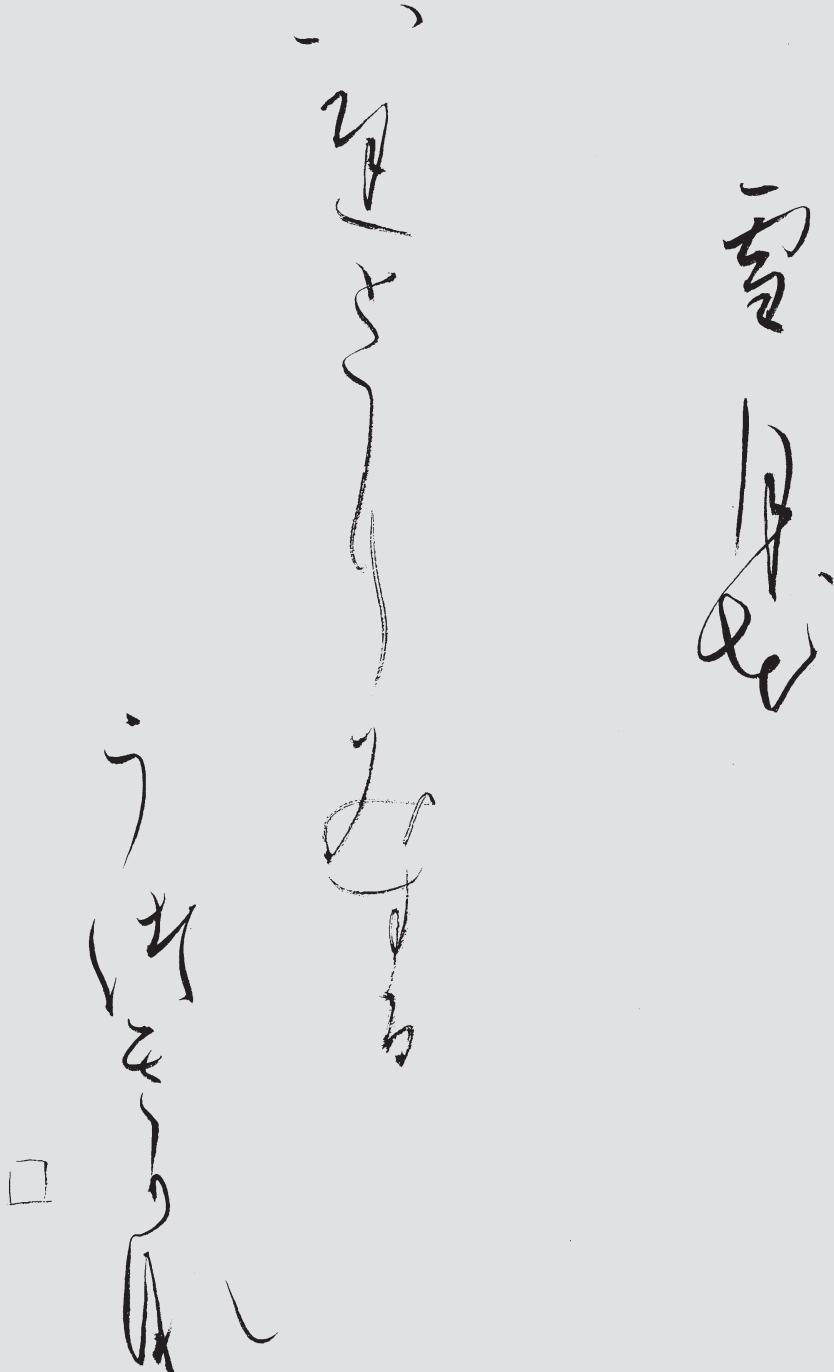
雪月花  
一度に見  
る卯木哉  
（うづきかな）

（松永貞徳）

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

※ちらし文字変換は自由

支部名 級 姓 号  
(鉛筆可)



船久保 棠苑先生

(9月10日締切)

## 実用文（準三段以上）

〈書風任意〉

修業は、鉄を打つと同様、くり返し鍛  
えよべきで、にわか仕立てではけつして身に  
つきはしません。事業は、強うで矢を放つ  
も同じ。満を持して登するべきで軽はず  
みではなくて、成功を收められねば。

支部

五

姓号

塙田悠碩先生

（9月10日締切）

## 実用文（二段以下）

朝平霞山先生

一日に何十枚、何百枚と習つて、五日  
も十日も休んでは駄目です。二十分  
でも三十分でも毎日筆をとら  
うが上達の要素です。

支部名 段級 姓名

〈書風任意〉

# 字

立 夏 新 封 漆 窓 濕 土  
立 夏 新 樹 漆 窓 濕 土  
立 夏 新 樹 漆 窓 濕 土  
立 夏 新 樹 漆 窓 濕 土  
立 夏 新 樹 漆 窓 濕 土  
立 夏 新 樹 漆 窓 濕 土  
立 夏 新 樹 漆 窓 濕 土  
立 夏 新 樹 漆 窓 濕 土

支 部

段級

姓

号

※ 一級～八級は草書まで。 初段以上は隸書まで。

染<sup>せん</sup> 窓<sup>そう</sup>  
窓に映える。

名前は必ず楷書

17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

## 硬筆（初段以上）

青 柳 江 雲 先 生

夏は各地方で様々な祭りや行事  
かりわれます。ねぶた祭、竿燈祭、

京都大文字焼き、又、阿波踊り等が  
有名。それべくの由来や意味を調べて  
みまでも意外に手つかずのものです。

支教名

系

姓子

硬筆（4級以下）

支部

級

姓

号

立秋とは名ばかりで厳しく暑さが  
続いています。御自愛下さい。

本院定型用紙・たて半分に書く

硬筆（1級～3級）

支部

級

姓号

立秋とは名ばかりで厳しく暑さが  
続いています。御自愛下さい。

田辺翠鶴先生

田辺翠鶴先生

(9月10日締切)

中2用

支部名

段級

名

前

収切手の  
集

渡邊南嶂先生

中3用

支部名

段級

名

前

海生物岸の  
生

小6用

支部名

段級

名

前

の夜  
星空

中1用

支部名

段級

名

前

研究成果の

渡邊南嶽先生

(9月10日締切)

小4用

支部名

段級

名前

立波  
つかじ

大越三宗先生

小5用

支部名

段級

名前

花の火  
音日

—19—

大越三宗先生

(9月10日締切)

小2用

支部名

段級

名前



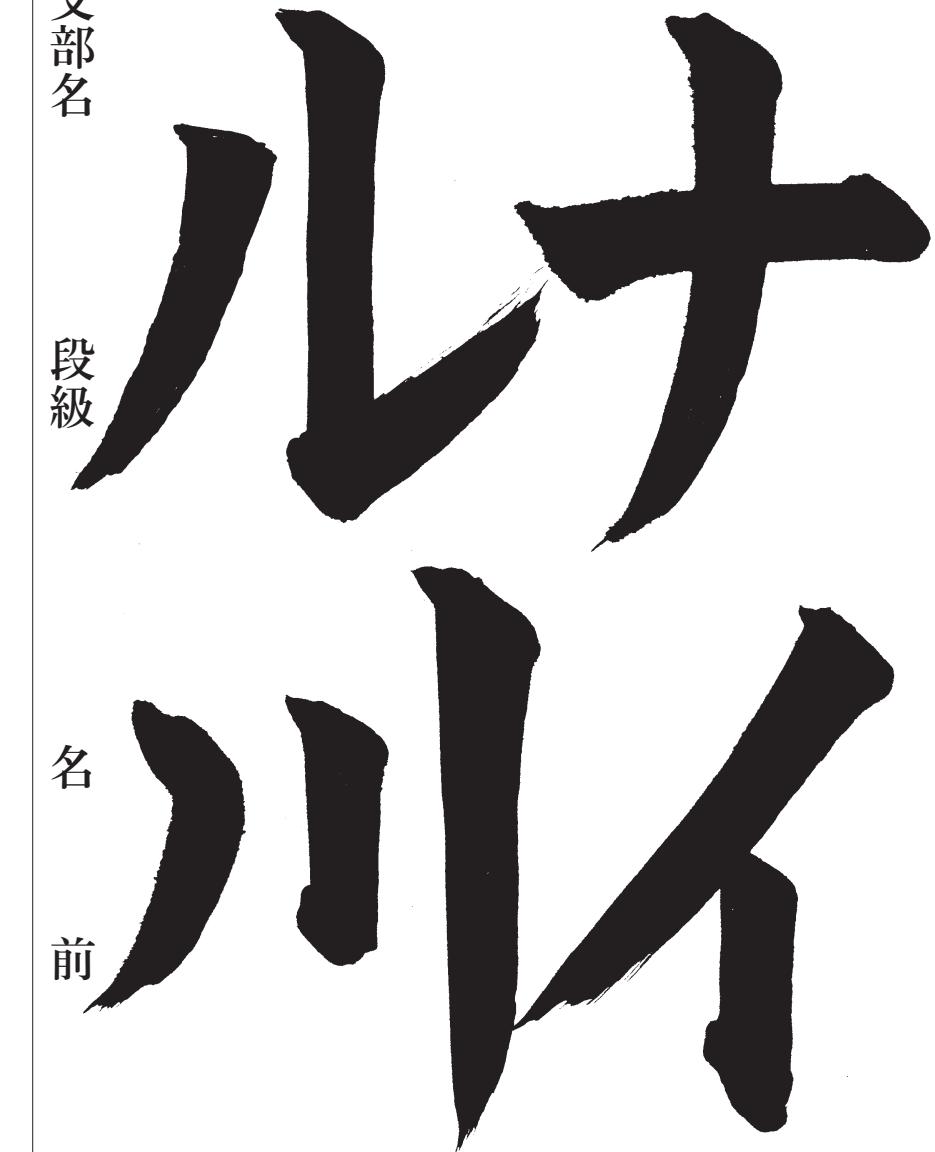
鈴木翡翠先生

小3用

支部名

段級

名前



鈴木翡翠先生

中 1

中学生になつて、国語  
辞典を買つてもらつた。

中 2

書物を美しく書ける人  
は、行書の移行が楽  
れた人との会話と同じ。秀

中 3

楷書を美しく書ける人  
は、行書の移行が楽  
れた人との会話と同じ。

中1～中3

青 柳 江 雲 先 生

小1・幼年用

支部名

段級

名 前

A large, bold, black brushstroke of the Japanese character 'え' (e) is centered on the page. The stroke is fluid and expressive, with varying line thicknesses and ink saturation.

小1・幼年

すくいをしました。  
おまつりに、きんぎよ

小 2

から元気です。  
小とりは早起き、あさ

小 3

早い生かつをしよう。  
早く正

小 4

月がらを耳にあてると  
波の音がきこえます。

小 5

水族館で見た、イルカ  
の曲芸は、すごかつた。

小 6

日中は夏の暑さが続く。  
身体に気をつけよう。

小1～小3

鈴木蕙翠

先生

小4～小6

田辺翠鶴

先生

(9月10日締切)

## 小学部かな課題

支部名

段級

名

前

夏木立に  
せみの声

主幹 菅野翠濤

読み = 朝顔のひと色にして花多し  
季語 = 「朝顔」朝顔ははかない花であるが、朝いっせいに、一色に咲いたさまは見事である。  
夾雜物を交えずに一気に朝顔の美しさを詠んでいる。

## 中学部かな課題

支部名

段級

名

前

朝かほ  
ひと色い  
おほ  
花

(9月10日締切)

# 平成27年後期昇段試験要項

## ◎かな部

### ◆A部 六段・五段に応試

(イ) 聯落 $\frac{1}{4}$ つぎ以内「たて」に揮毫  
山里の風すさまじき夕暮に木の葉みだれてものぞかなしき

(ロ) 全懐紙「たて」に揮毫  
あき風のふきにし日よりひさかたのあまの河原にたたぬ日はなし

### ◎漢字部 臨書課題

#### ◆A部 六段・五段に応試（用紙・聯落 $\frac{1}{4}$ つぎ）

|              |           |
|--------------|-----------|
| 楷 書 欧陽詢・皇甫誕碑 | P • 26 参照 |
| 行草書 米芾・蜀素帖   | P • 26 参照 |
| 隸 書 礼器碑      | P • 27 参照 |
|              | 160 cm    |

#### ◆B部 四段・三段に応試

(イ) 聯落 $\frac{1}{4}$ つぎ以内「たて」に揮毫  
照る月の秋しも殊にさやけきは散る紅葉ばを夜も見よとか

(ロ) 半切 $\frac{1}{2}$ 「たて」に揮毫  
しら露をこぼさぬ萩のうねりかな

#### ◆C部 二段に応試（用紙・半切）

|                |           |
|----------------|-----------|
| 楷 書 欧陽詢・九成宮醴泉銘 | P • 29 参照 |
| 行草書 王羲之・集字聖教序  | P • 29 参照 |
| 隸 書 曹全碑        | P • 30 参照 |

#### ◆C部 二段・初段に応試

(イ) 半切「たて」に揮毫

雲はみなはらひはてたる秋風を松に残して月を見るかな

#### ◆D部 初段に応試（用紙・半切）

|                |           |
|----------------|-----------|
| 楷 書 欧陽詢・九成宮醴泉銘 | P • 30 参照 |
| 行 書 王羲之・蘭亭序    | P • 31 参照 |

※級から級への受験者はD部に応試のこと。

※級から級への受験者はC部に応試のこと。

◎実用文

半紙タテ書き。落款は行書又は草書

◆A部（準三段以上に応試）

普通印は書者の名や号を刻したもの用いますが、書者の姓名、雅号ではなく好みの詩句や成語を刻したもの遊印といいます。文人達に多く用いられました。

◆B部（二段以下に応試）

書の文字間、点画間の気持の繋がり、流れを氣脈といいます。優れた作品は、線が続いていなくても氣脈が貫通していると感じられる。

◎細字部

半紙横書き、落款は楷書・旧漢字使用

（初段受験の方は楷行草の三体、準二段以上受験の方は楷行草隸の四体を揮毫して下さい。）

時望水雲無限處 蕭然獨聽隔林鐘

※級から級への受験者は草書までを揮毫のこと。

◎硬筆部

◆A部 六段・五段に応試

本院定型用紙に楷・行・草別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体に書く。）

書道の学習方法に手本を横に置き、字形を忠実に真似る形臨、手本の精神や筆意を汲むことに重点をおく意臨、何回もの練習後に手本を見ないで記憶によって書く背臨がある。

◆C部 初段に応試

本院定型用紙タテ半分に、楷・行別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体に書く。）

命毛とは筆の先端のことで、毛筆の性能を左右する処です。

※級から級への受験者はC部に応試のこと。

※合格者には段級証明書を発行します。

※手本希望の方は手本代と返送用封筒（切手添付）を同封して直接希望の師範へ依頼して下さい。

※揮毫した師範は一回限り無料添削の義務あるものとし、二回以上添削希望の者はその師範の指示に従つて下さい。

※漢字作品出品の際、提出作品を、楷・行草・隸の順に重ね、一番上の作品の左下に鉛筆で支部名・現在の段級・姓号を記入して下さい。（仮名作品はそれに鉛筆で記入）

※バーコード出品券だけを一枚貼り付けて下さい。

## ◎昇段試験 実物大手本料・応試料

| 科目  | 種別            | 六～準五段を受験 | 四～準三段を受験 | 二～準二段を受験       | 初段を受験 |
|-----|---------------|----------|----------|----------------|-------|
| 漢字  | 手本料<br>(1書体)  | 5,000    | 3,500    | 2,500          | 2,000 |
|     | 応試料           | 4,500    | 4,000    | 3,500          | 3,000 |
| かな  | 手本料<br>(1セット) | 8,500    | 7,500    | 6,000          | 6,000 |
|     | 応試料           | 4,500    | 4,000    | 3,500          | 3,000 |
| 硬筆  | 手本料<br>(3書体)  | 7,000    | 6,000    | 3,000<br>(2書体) |       |
|     | 応試料           | 3,500    | 3,000    | 2,500          | 2,000 |
| 実用文 | 手本料           | 2,000    |          | 1,500          |       |
|     | 応試料           | 3,500    | 3,000    | 2,500          | 2,000 |
| 細字  | 手本料           | 2,500    |          | 2,000          |       |
|     | 応試料           | 3,500    | 3,000    | 2,500          | 2,000 |

# 後期昇段試験課題（六段・五段）

楷書 皇甫誕碑（唐・歐陽詢）

中国法書選29

P 13 14

蕭相降昂緯之附精據德依仁  
居貞體道含章表質詎待變於朱藍  
恭孝為基寧取訓

蕭相。降昂緯之淑精。據德依仁。居貞體道。含章表質。詎待變於朱藍。恭孝為基。寧取訓。（33字）

行草書 米芾集より蜀素帖「集賢林舍人」（宋・米芾）

中国法書選48 P 6

揚帆載月遼相過佳氣惹人聽  
誦歌歸未捨遺知故蕭野多滯  
穗是時和天分秋暑資吟興

揚帆載月遠相過。佳氣葱々聽誦歌。路不拾遺知政肅。野多滯穗是時和。天分秋暑資吟興。（35字）

# 後期昇段試驗課題

(四段・三段)

諸侯之俗，延譽而出周境

其年重出聘齊受天子之命問

其年。重出聘齊。受天子之命。問諸侯之俗。延譽而出周境。(22字)

(六段・五段)

亂不尊圖書倍道畔德離敗聖  
輿食糧亡于沙丘君於是造立禮器樂之音符鍾磬瑟

亂不尊圖書倍道畔德離敗聖  
輿食糧亡于沙丘君於是造立禮器樂之音符鍾磬瑟(33字)

楷書 蘇慈墓誌銘 (隋・作者不詳)

中國法書選 26 P 56 57

隸書 礼器碑 (後漢・作者不詳)

中國法書選 5 P 9 12

# 後期昇段試驗課題（四段・三段）

行草書 董其昌「行草書卷」（明）

中国法書選51 P10 11

衆生狹劣故以華嚴廣之以癡起教也。衆生執着故以法華解

衆生狹劣。故以華嚴廣之。以癡起教也。衆生執着。故以法華解。（24字）

隸書 曹全碑（後漢・作者不詳）

中国法書選8 P8

尉北地大守父臻少貫名州郡不幸早世是以位不副德君

尉北地大守父臻少貫名州郡不幸早世是以位不副德君（23字）

## 後期昇段試驗課題（二段）

楷書 九成宮醴泉銘（唐·歐陽詢）

中國法書選31 P 13

同堯肌之如腊甚禹足之  
胼胝針石屢加腠

同堯肌之如腊甚禹足之  
胼胝針石屢加腠

行草書 集字聖教序（東晉·王羲之）

中國法書選16 P 3

生四時無形潛寒暑以化物  
是以外窺天鑑地庸

生四時無形潛寒暑以化物是以窺天鑑地庸（18字）



# 後期昇段試驗課題

(初 段)

承以石檻引為一渠其  
清若鏡味甘如醴

承以石檻。引爲一渠。其清若鏡。味甘如醴。(16字)

楷書 九成宮醴泉銘 (唐·歐陽詢)

涼洲常爲治中別駕紀綱萬里朱紫不謬出(17字)

涼州常爲治中別駕  
萬里朱紫不謬出

隸書 曹全碑 (後漢·作者不詳)

(二 段)

涼州常爲治中別駕  
紀綱

中国法書選8 P11·12

中国法書選31 P21

行書 蘭亭序（東晋・王羲之）

中国法書選15

P 14

永和九年 峴在癸丑暮春之初  
會稽山陰之會

永和九年。歲在癸丑。暮春之初。會于會稽山陰（18字）

## 夏期講習会

▲会場 亀田市民会館（駐車場有）  
 ▲日時 八月三十日（日） 九時開場 四時半閉会  
 ▲申込締切 八月二〇日（木）  
 ▲会費 五〇〇〇円

\*研究部を除く各部共後期昇段試験の勉強会になります。用具は各自持参。  
 \*個人会員、適正な指導者のいない支部の方は積極的に参加下さい。

\*研究部は昇試、段級に関わらずどなたでも参加可。

\*研究部は半切を持参の事。又、各展覧会出品予定・出品後の作品あれば『作品鑑賞会』も予定しております。

\*仮名部の研究部も受け付けます。

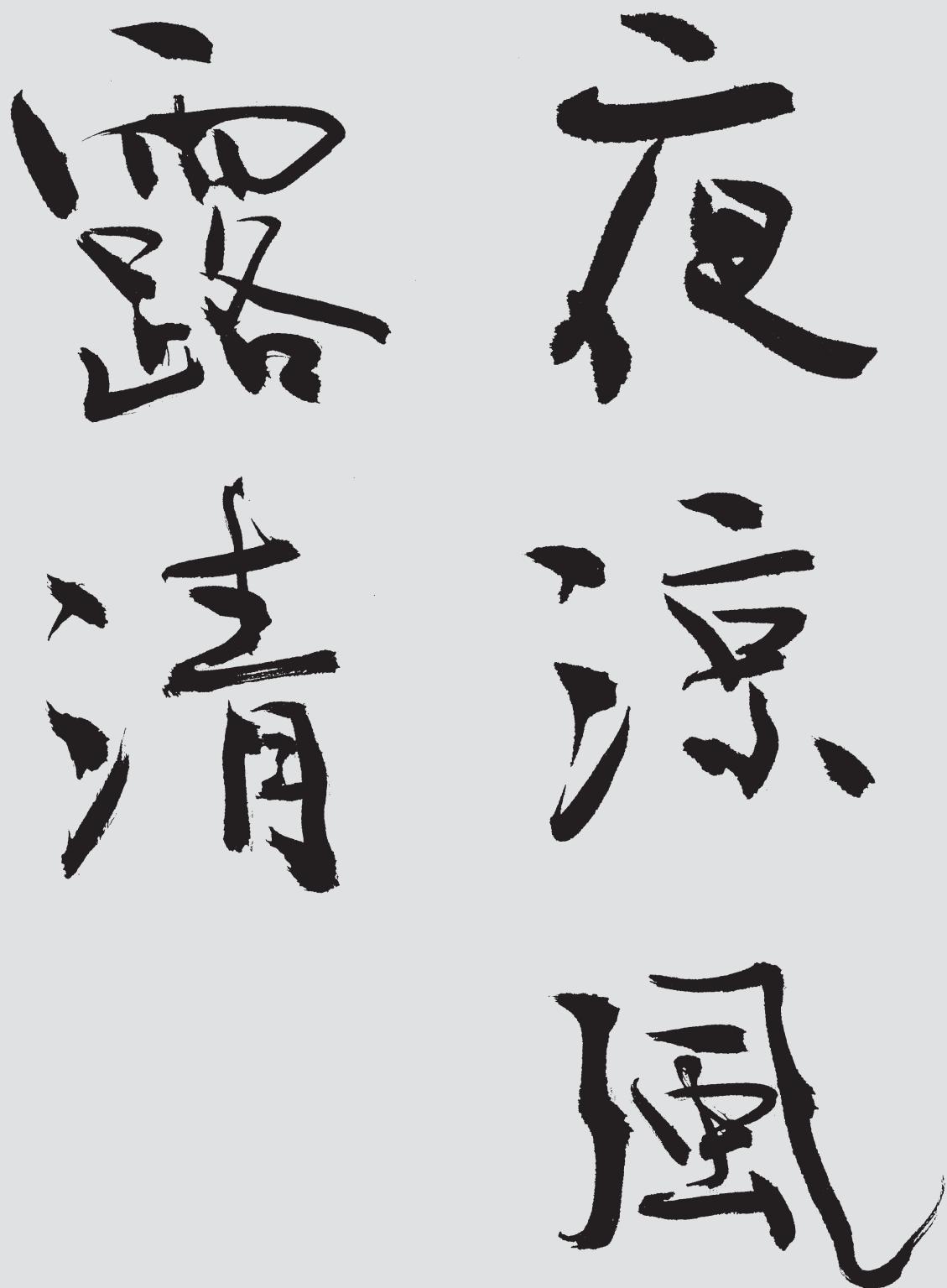
\*昼食は参加申込と一緒に事前予約のみとします。

## 講習会担当講師（予定）

|        |       |       |
|--------|-------|-------|
| 研究部    | 菅野 翠濤 | 大井 岳陵 |
| 漢字 A   | 朝平 霞山 | 大越 三宗 |
| 漢字 B   | 渡辺 南嶋 | 鈴木 翡恵 |
| 漢字 C・D | 田邊 翠鶴 | 青柳 江雲 |
| 仮名部    | 船久保棠苑 | 若月久美子 |

# 参考手本

\*これは規定課題ではありません。



よるすず  
夜涼しく  
ふうろきよ  
露  
風  
清  
し

成瀬映山先生